

目標達成計画

作成日: 平成 23年 2月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	近隣住民との地域の連携や、協力体制が構築されたとは言えない状況であった。また、非常持ち出し用具はあるが、非常食の備えは、行っていなかった。	地域の消防訓練等に積極的に参加し、地域の消防団等への面識を新たにし、協力を求めていく。また、非常持ち出しと合わせて、緊急時の食料等の備蓄を心掛けて行く。	秋の町内全域で行う防災訓練に事業所で参加し、地域に小規模のグループホームがあることの周知をえた。今後は地区の防災関係の集まり等に積極的に参加していく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見が十分に反映していない。	誰にでも開かれたホームを目指し、気づいた点等を気軽に要望してもらえるようにする。	家族の訪問の際、具体的な要望の聞き取りや、運営に関する意見を聞き、家族的な雰囲気のもとで利用者が生活できるよう運営に反映する。	6ヶ月
3	6	身体拘束排除ということで、日中の玄関の施錠も行っていない。しかしながら、新たに入居した利用者があるときは、行動把握できるまで施錠していた経緯があった。	新たな入居者を迎えたときにも、日中の玄関の施錠は行わない。	自由に過ごしていただけるよう、利用者が一人で歩き出した際は、後ろから危険回避を行いながら、一緒に出かけられる体制を整える。	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。